

井茂圭洞さん

（書家・一東書道会会長・兵庫県書作家協会会長）

□特集〈和の伝統〉①

書は空気のようなもの ——書家は夢を食べている

兵庫高校時代に
人生を左右した師と出会う

——竹中郁の詩を井茂先生が書かれた作品を、アネック

クス湊川ホスピタルで拝見しました。

あれは竹中さんがその病院のために書かれた未発表の詩ですね、いい詩ですね。あれを読んだらすぐ治つて帰れそうな詩ですね。アネックス湊川の理事長先生のお嬢さんとうちの息子が同じ塾へ通っていたことからおつきあいがあって。神戸だとそういう人のつながりがいろいろなところにあっておもしろいですね。

私の父親は神戸中央卸売市場で青果の卸売業をしていて、書道の先生じゃ食べられへんからあとを継げと言われたけれどね。結局弟が継いだんです。子供のころは医者になりたかったんですよ。それも単純な発想なんですが、私は8歳のときに膝関節結核にかかりまして、その昭和18年当時、結核の薬はなかつたんです。が10年もたつたら、私のような病気も薬で治つていたのです。でも私はカエルの解剖ができなくてね（笑）。魚を切ることはできてもカエルは切れません。それで医者はあきらめたんです。

——先生は兵庫高校です
よね。兵庫高校出身の
アーティストは多いです
よね。

勝手きままにやらし

てもらつたからどちらが
いますか（笑）。兵庫高
校に入学して、書道部

に入ったときは、まさ
か書家になれるとは思
つていませんでした。というのは私は生まれながらの
悪筆でね、くせのある字だつたんですよ。ですから、
サラリーマンになるなら字でも勉強した方がいいんじ
やないかと思つて書道部に入つたんです。そこで、顧
問の深山龍洞先生と出会つて大きな影響を受けまし

た。

——悪筆だつたから個性的な書が生まれたのではない
ですか？

そうですね。いわゆるきれいな字というのは均整の
美です。楷書は均整美でよいのですが、続けて書くよ
うになると上や横の字との関係で字の形が変わる均衡



の美になるんです。深山先生は均整の美よりも均衡の美を重んじる先生でしたね。私のことも、字がきれいという観念とはちがつた目で見てくれていたのではないかと思いますね。他にもっと字の上手な人がいたのに、私は高校の書道の先生をしないかと言つてくださいました。私が書道を始めた昭和32年頃は、おかげでことといつたらそろばんかピアノで、書道はあまりなかつた。その後40年頃になって書道塾というのがさかんになるのですが、その頃はまだそんなことわからんから、深山先生はよく「書道は誰かがやらんと消えていつてしまう」と、細々でも続けていく人がいないとなくなつてしまふとおつしやつておられましたね。

そして、京都学芸大学（現在の京都教育大学）の書道科に入学したのです。

—深山先生の助言があつて、書道の先生の道をお選びになつたのです。先生は弟子を育てるのが上手でしたね。きみはこの

道に進みなさいと、勧めることをされない、つまり、よく生徒を左右しない先生もおられます。深山先生はいろいろと助言してくださいました。それに、先生はかならず形や文字の組み合せ、どの字にどの字を組み合わせたら行に動きが出るとか、かなとかなを続ける線の種類などを、合理的に順番に教えてくれたんです。書道は、いきつとこままでいきついたら感覚の仕事になるのですが、そこに至るまでは理知的な仕事で、どうすればどういう動きができるか、という裏付けがある。それはいろいろな世界での「基礎」にあたるのです。基礎をきつちりしていたら、誤差の範囲で收まるんです。でもそのきつちりしたところに収まつてしまつたら人を感動させることはできないわけで、最終的にいかにだめだということに挑戦するかということになるのですが。

私が出会つたときは、深山先生は学校を辞められる年で、51歳でしたが貢献がありましたね。書に対する執念が肌からにじみ出ておられましたね。

芸術院賞受賞は2人分の喜び

—今回受賞された日本芸術院賞は。

これは作品に与えられる最後の賞です。芸術院の先生方50人の投票で、過半数以上を獲得するといただけなのです。

実は深山先生は、昭和50年に日展で内閣総理大臣賞を受賞され、その後3年間、いろいろな



北区の自宅で



県立淡路島公園に完成した深山龍洞先生の生誕百年記念書碑



昭和43年第21回一東書道会展にて深山龍洞先生（左）と井茂さん（右）

先生方にご理解をいただくためにご挨拶にまわったのです。そのときのかばん持ちを私がさせていたいたんです。私は大学の公職についたばかりのころで、授業の日は親戚の皆さんに頼んでね。明日には親戚の皆さんをお呼びしなさい」と言われたんです。

その後は先生の奥さんとご一緒にいたしました。今やつたらね、もつとお役に立てたと思うのですが、私もしゃべれませんやろ、41歳か42歳で芸術院会員の偉い先生と話もできませんし。また奥様も無口で（笑）。それに私がしゃべったって、先生の代わりはできませんよ。奥様と一緒に半年まわったのですが、1票足りなかつたので通らなかつたんですよ。それで先生はそれががつくりと来たんでしょうね。通つていたらもう少し長生きされたと思うんですけど。

ですから今回、私も自分のためにというよりは、先生の残された仕事のような気がしていましてね。先日、4月30日に、深山先生の出身地である淡路に先生の書碑が完成して、その除幕式でも言つたんですが、先生が天国から応援してくれたからだけの賞などと。そんなことで、今回の受賞は、私には大変意義のあることだつたんですよ。

深山先生がもう危ないと病院の先生から聞いたあとに、ある人に、死後叙勲といって生きているうちにとれるのがあるんだと聞いて、榎本敏夫さんの紹介をいただいて、田中角栄先生にお願いに行つたんです。そしたら県から、こういうものは出身地から出すもんやと怒られてね（笑）。でも深山さんは兵庫県の文化賞を受賞されていたから応対できたと言われたんで

日本芸術院賞が決定した「清流」。
良寛の歌で「ひさかたの天の川はら
の渡しも川なみたかしこころはら
こせ」

す。それがやると言われてからなかなか返事が来ない
んですね。先生の体調もどんどん悪くなつて、気が
気じやなかつたです。結局、勲四等瑞宝章をいただい
たんですけど、4月30日の閣議があつたその日の3
時頃に私のところに決まつたと連絡があつた。私はす
ぐに先生が入院されている海岸病院に行つて、勲四等
をもらいましたと伝えましたと伝えましたと伝えた
ら、先生はすぐ奥さんを呼んで、よかつたなあと、そうしたたらその2・3時間後に
亡くなつたんです。先生には死後叙勲なんて言いませ
んよ。でもあれはね、先生が亡くなつたあくる日にも
らつたつて値打ちないですもんね。そんなことがいろ
いろあつて、今回のことも、私自身のことなんだけれ
ど、とても嬉しいことでした。

「二代にわたつての思いですものね。」

まあね、兵庫高校に行つていなかつたら深山先生に
お会いできなかつたし、そうなつたら書家にもなつて
いなかつた。

今は、先生の力がなくなつて、先生の生徒への感化
力がなくなつたといわれていますけれど、そりやあ生
徒全員が先生の方を向くことはないかもしれません
が、波長の合う生徒は、やはり先生に左右されるはず
ですよ。偏差値の時代になつて、入れる大学に行くよ
うになつてしまつて、この先生がいらつしやるからこ
の大学に行くということもなくなつたらしいしね。私
は懐古主義ではないけれど、そういう古いこともいい
とは思うんです。

これからもかな文字を追究

先生にとつての書の魅力とは何ですか。

人は、空気がおいしいと思うことはあるけれど、空

気に感謝することはあまりないでしょう。それと同じで、ぼくは書道やつておれば楽しいともいえないけれど、苦しいこともないんです。音楽を聴いたり絵を見たりするような積極的なことはちがって、私には書は空気のようなものですね。

今までは、古典というか、勉強方法が後ろを向いていたので、これからは、前衛的ではないけれど、美しいかな文字をクリエイトしたいと思うんです。字を美しくアレンジするという話はよく聞くけれど、私はもつとさかのほつて、例えば「あ」という文字をバラバラにして、自分の好きなようににしてしまいたい。「あ」を分解すると、水平・垂直・斜線・円の4つに分かれるので、自分の感覚に合った形に、文字性を生かしながら再組織して文字を作つてしまいたいんですよ。

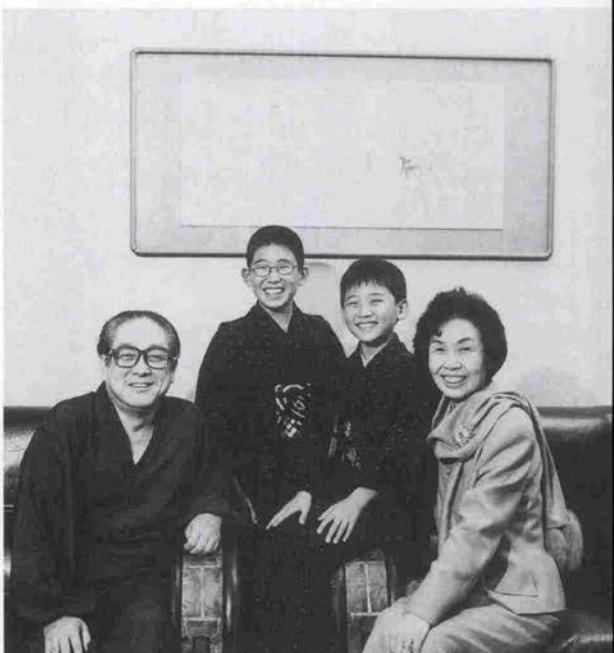
—その考えは神戸らしいものでしようね。

京都の先生なんかはね、やはり雅びな字を書かれま

すよ。深山先生は神戸だつたからしゃれてましたね。以前、彫刻家の方とお話ししたときに、彫刻は置く場所によつて光の加減がちがうから大変でしょうねと言つたら、「彫刻は光でなく影ですよ」と言われたんですね。ぼくはそれを聞いて、書道も字の形ではなく行間・字間だと思つたんです。それは偶然ではなくてね、陶芸家も、窯変を起こすべくして起こすとおつしやいました。

絵画では、抽象画も好きでカンディンスキイなど見ますよ。かな文字の世界でも抽象絵画的な発想もどりいれたいと言つたら、先輩方から無理やと言われるかもしれないですが、書家なんていうのは、夢を食べているものなんですよ（笑）。

（インタビュー 小泉美喜子）



夫人の貞子さん、お孫さんの豊原匡志くん、圭次朗くんとともに

昭和62年	書業30年記念井茂圭洞書作展	井茂圭洞（いしげけいどう）
平成元年	（一〇〇品展）神戸そごうにて	昭和11年9月16日神戸市生まれ
平成7年	兵庫県文化賞受賞	社団法人日本書道連盟副理事長
平成10年	兵庫県文化賞受賞	財団法人日本書道連盟副理事長
平成13年	兵庫県文化賞受賞	京都教育大学名誉教授
平成13年	（在ミュンヘン日本	昭和62年
平成13年	ハイム展出品）（在ミュンヘン日本	書業30年記念井茂圭洞書作展
平成13年	国税領事館主催）	（一〇〇品展）神戸そごうにて
平成13年	（在ソフィアにて「かな	井茂圭洞（いしげけいどう）
平成13年	書道）「モントレーシヨン（外	昭和11年9月16日神戸市生まれ
平成13年	務省国際文化交流基金による	社団法人日本書道連盟副理事長
平成13年	神戸市文化賞受賞	財団法人日本書道連盟副理事長
平成13年	現代書道二十人展出品	京都教育大学名誉教授
平成13年	以後毎年	昭和62年
平成13年	文部科学大臣兵庫県地域文化功劳	書業30年記念井茂圭洞書作展
平成13年	者表彰	（一〇〇品展）神戸そごうにて
平成13年	（在ソフィアにて「かな	井茂圭洞（いしげけいどう）
平成14年	書道）「モントレーシヨン（外	昭和11年9月16日神戸市生まれ
平成14年	務省国際文化交流基金による	社団法人日本書道連盟副理事長
平成14年	デモンストレーションコレクショ	財団法人日本書道連盟副理事長
平成14年	ンボール美術館展出品	京都教育大学名誉教授
平成14年	（在ジュネーヴ日本国総領事館主催）	昭和62年
著作	（「かな字典」（二玄社刊）、「かな古典の	書業30年記念井茂圭洞書作展
著者	学び方」（和泉式部集刊）（二玄社刊）、「かな古典の	（一〇〇品展）神戸そごうにて
著者	書道教科書執筆（光村図書）などがある。	井茂圭洞（いしげけいどう）

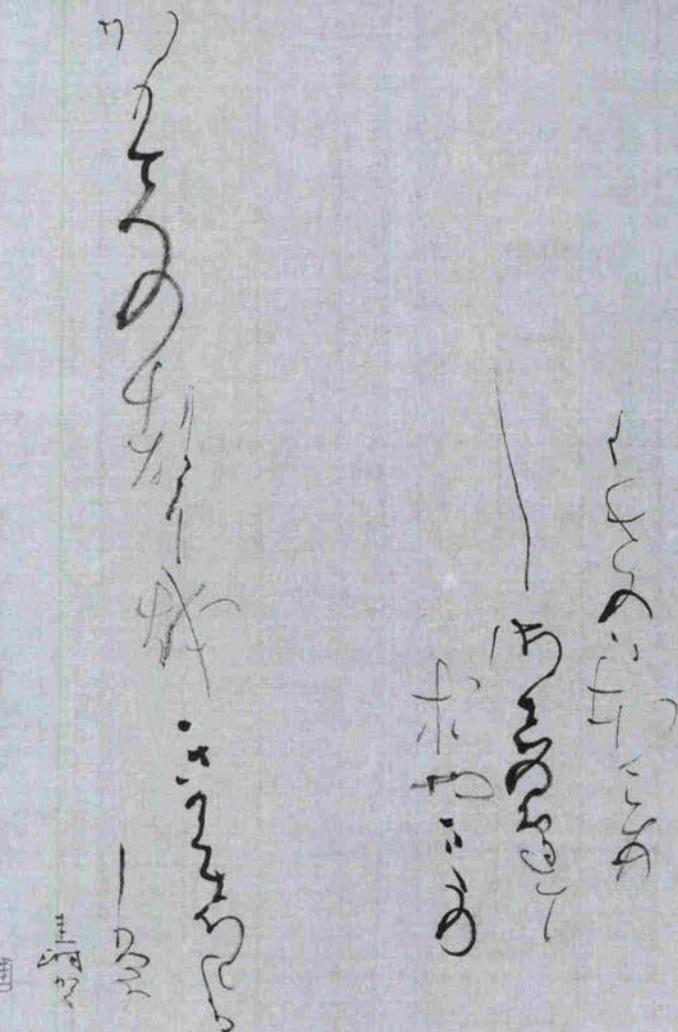
くさのいほに

あしあしのべて

おやまだの

かはづの聲をきかくしよしも

良 寛



花柳芳五郎師 五十回の記念公演と 金婚式の幸せ



大和楽の「無悦夢情」より

日本舞踊家・花柳芳五郎師の、第五十回記念舞踊公演が、四月二十六日（土）二十七日（日）の二日間、神戸こくさいホールで華やかに開催された。最後のプログラム大和楽の「お祭り」を十二人の弟子も含めた男性舞踊手たちとさわやかに踊り抜き、「五十年の記念の会が無事に勤められましたのも皆様のご支援のおかげです」と頭を下げた芳五郎師は、会場に感動の涙を誘つた。五月四日、布引の料理旅館「いさご」で、一息をつかれた芳五郎師にインタビュー。

★ 五才から踊り始め、初舞台は六才で「手枕」

「何歳から踊りのお稽古を始めたのですか」芳五郎「五才の時に先代芳次郎師に、福原の検番へお稽古につれて行かれて、六才の時に今の花柳呂月（当時芳一）師に預けられて小唄「手枕」が、初

舞台でした。それから十一才で花隈の芳五郎師（楽蹠師）のもとでお稽古し、十五才の時芳五郎師が兵隊に行かれたので、また先代の芳次郎師のもとへ行きました。

昭和十九年に芳五郎の名を頂きました。初めは芳五郎に習っていたので芳五郎が四十一歳で人を育てる名前でいいよということになつて（笑）おかげさんで長いこと踊らしてもううです。

芳五郎は、戦後、八千代劇場で忠臣蔵をやりまして、私の勘平、恵一子（現芳二）さんのお軽、吉金吾（現吉童）のお軽と交代、芳一さん（現呂月）の定九郎で身受けのお軽（六段目）をやつたんです。

初の五郎会のとき二十五才で大役伊左衛門をやりました。寿光先生が喜左衛門、芳一さんの夕霧での女間者や、大菩薩峠とか忠臣蔵にもでました。二十五才の時に映画に誘われまして、嵯峨美智子

昭和二十七年にその結婚しましてね。あれから五十年。神戸新聞さんが二千六百人いる金婚式の代表夫婦になつてといつて下さつて、それにも今、七十六才。金婚式の年に五回目の記念公演ができるなんて、ほんとに幸せものです。五月十一日に表彰していただき、昭和二十六年に、五郎の会を始めたんですから感慨深いものがありますよ。そう国際会館の開館からやつていて、ようまあ震災の年も一年重建で伸びて、四月オープンに、六月私が重建後一番でした。

★ 伊三郎（長男）と共にインター・ナショナルに

それにしても記念公演のラスト大和楽のお祭りには男性舞踊手ばかりよく育てられましたね。



大和楽の「お祭り」中央芳五三郎師

芳五三郎 息子の伊三郎、それに伊三輔、伊三峯、伊三豊（藤原流）小三郎、伊三之輔、竜一郎、知香之輔、秀之進（九州小倉）、豊三郎（中津）と男性舞踊手が少ないので皆にしつかりしてもらいたいと思います。

伊三郎は玉川学園で教えていますが、今、世界舞踊団に入つていまして、NY公演や、フィラデルフィア公演があるんです。また、シアトルの日本人会にも教えていますので三年に一度、伊三郎の会がシアトルであるんです。その後、ラスベガスへ行つてカジノをやつたり。これはもの凄く楽しい（笑）。息子のおかげでインターナショナルですわ。

五月十日に、分家花柳芳次郎師の三十三回忌公演が国立文楽劇場でありますて「峠の万才」を親子で踊りました。

★ 全身全靈で踊った「二人椀久」

リサイタルも印象深いですね。

芳五三郎 リサイタルは一回だけでいいと四十三才で長唄「京鹿子娘道成寺」と、それに長唄「黒塚」。唄は今藤長之、絃が芳村伊十七。

古賀政男先生が、自分の一生をと「幾山河」の詞を書いて山本武晴さんが作曲したものもやりました。

三代目の花柳寿輔家元と長唄「二人椀久」もやらせていただきましたが、「神戸に恐いのがいるよー」といわれて、東京お稽古が始まると、内弟子と弟子がずらっと並んで見てるんです。身震いして（笑）、本番は、全身全靈で踊りました。

何しろ家元は凄い。全国に三十六万人の名取がいる。主な名取が三万〜五万人。全部名前を憶えているというかっこい方です。女性ですけれどもね。

★ 三つの賞をいただいて…

平成十年、神戸新聞文化賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞を一举に受賞されましたね。

芳五三郎 あれはびっくりしました。神戸新聞と県からお話をいただいて、市から一日おいてお聞きしたときは、ありがたいやら驚くやら。

兵庫県文化賞は、県の最高の賞だからと、播磨運動公園に石に彫つて下さって、西脇の弟子と一緒に見に行きました。分家花柳芳次郎師と楽燈師と私と花柳流だけが頂戴しているので、これから心せねばといましめました。

宝塚歌劇団は、天津乙女さんと春日野八千代さんのお二人でした。花柳和泉さんも素晴らしい舞踊家さんなので差し上げてほしいですね。兵庫県舞踊協会が五十回出演記念と大和楽の「花を恋い」を花柳和泉さんと踊りましたが、今年は、私の会が五十年、結婚して五十年の金婚式を迎えられたのも皆様のおかげです。ありがとうございました。

（小泉）

森田耕山師 開軒35周年記念 尺八演奏会開く

竹の響き「尺八」に魅せられて

尺八の新都山流・森田耕山師（六十才）が、三十五周年の記念リサイタルを、神戸文化中ホールで四月十九日に開かれた。今、尺八は、日本楽器の中でもブーム到来の感がある。湊川神社社務所に稽古場を持つ耕山師を尋ねてインタビュー。

★古典もいいけど現代音楽もいい

「先日はおめでとうございました。耕山先生と尺八の出会いは、いつのことですか。」

耕山 父がかつて、流祖・中尾都山先生に師事して、いたこともあり、尺八の音色が魅力的でいいものだなと思っていたんです。

市立西宮高校の吹奏学部でトロンボーンを約三年、合唱部で唄もやりました。それから神戸外大英米学科の二部へ入学して四年、在学中西宮市役所へ勤めたんです。夜の時間が空いでいるので、何か楽器をやりたい、

家で出来るものはないかな、それに皆のやっていることをやりたいと考えたときに、父が家で稽古をしていて尺八を思い出して挑戦してみようと思ったんです。父がちょうど尺八を買うという時で。友人の古中桂山師がなぜか二本尺八を送つて来られた。それがきっかけですよ（笑）。当時は、役所に行って帰りはマージャンという行政マンが多いときに、とにかく熱心に稽古を続けました。

それに、トロンボーンをやっていたこともあって習得が早い。二十二才で初めて二年半で準師範、それから三年で師範になりました。二十五才で教える資格を取りましたので、友達に教えましてね。第一回のリサイタルは三十五才で、昔の神戸文化小ホールで。

それから五年ごとに、ピッコロシアターや、芦屋のルナホールなどで開いて、平成六年に退職し、プロに転向して先日の三十五周年記念になった訳です。





森田耕山開軒35周年記念尺八演奏会 竹のひびき—春風にのせて— 平成15年4月19日 於:神戸文化ホール

—耕山先生にとつて尺八の魅力は？

耕山 尺八は聖德太子の時代に中国の唐から雅楽と共に入つて来ているのですが、なぜかはれてしまつて、虚無僧の門付けなど仏教と関わつてきていますが、私は織細さと「むら息」のダイナミックさの音色が好きなんです。

だから古曲もいいし、現代音楽もいい。

それに教えることによつていろんな人と接しているので、自分のテリトリー以外の情報が入つて来るのもありがたい。人間としての幅ができますからね。今度「大和ボサノバ」というタイトルで、大阪で演奏会があり「大和ボサノバ」という曲に出演しますが、尺八も時には洋楽と一緒にやることもありますし、サロンコンサートを、三宮の「かるきや」という料理店で、弟子が主催する「ほろよいコンサート」に出演しています。

私の師匠は池田静山といいまして七十一才。大阪にいらっしゃるのですが、音色に艶があつて、包容力がある尺八。私のめざす音色ですね。

★邦楽の学校教育に夢を…

—今、邦楽が学校教育に入りましたね。

耕山 小学校の音楽の時間に指導に行きますが、六人中、三・四人しか尺八を知らない（笑）。

外国人の方々の方がよく知つていて、私の研究生にもフランス人がいます（笑）。

今の子供たちは、音楽に対してもいい耳を持つてますから、邦楽家としては、良質のいい尺八をきちんと伝えたいですね。

—耕山先生のご趣味は…。

耕山 読書かな。松本清張、山本周五郎なんか良く読みました。あとは山歩きですね。

稽古場は三田の自宅と、阪神間各地とNHK文化センターとこの湊川神社。楠公さんの境内がお稽古場というのは雰囲気があつて最高です。（小泉）

改革を 進めるために



近畿財務局長 大村 雅基

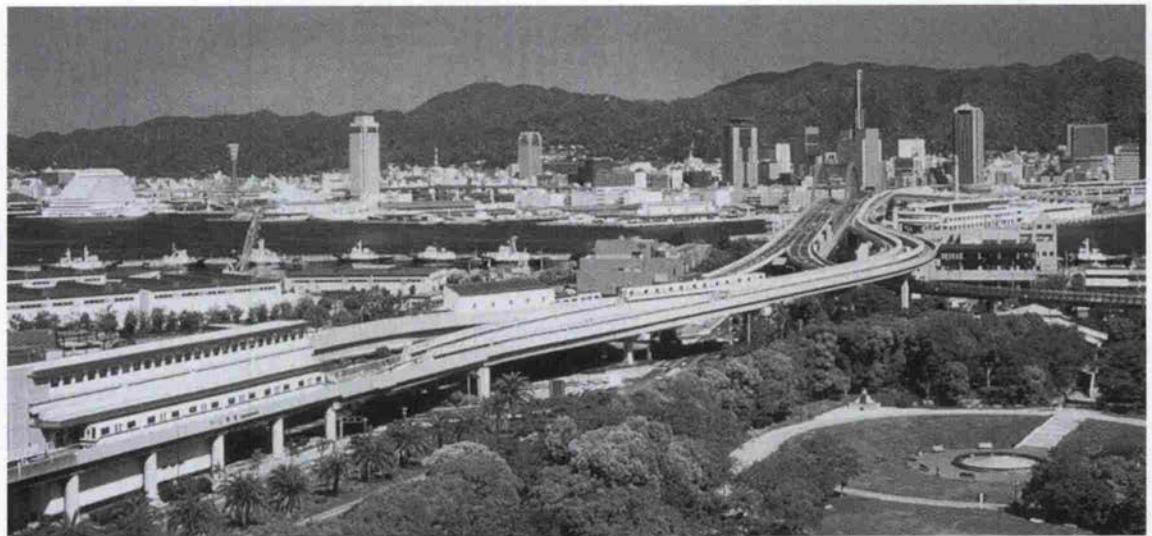
厳しい経済状況が続く中で、「改革なくして成長なし」というスローガンに疑問を呈する向きもある。しかし、日本経済・社会を取り巻く大きな環境変化に対応してこなかつた事が今日の停滞の主因であるとすれば、矢張り、改革なくして未来はない。「失われた十年」と言うけれど、この間政府について言えば、例えば、中央省庁再編が行われて経済財政諮問会議が発足し、情報公開や特殊法人の議論が進められ、金融機関の監督の在り方も大きく変わっている。企業部門についても、自動車産業のように、改革を進めつつ国際競争力を維持しているものも少なくない、インターネットや携帯電話の普及、環境や医療・福祉関連ビジネスの成長等、変化に対応した動きも生まれている。

しかし、こういった変化の規模とスピードはまだ不十分という点は否定できない。改革を進めるには、政府が明確なビジョンを呈示すると共に社会が改革の必要性を理解する事が不可欠であるが、不毛な二極論が社会的合意の形成を妨げているように思われる。一つは、自分が変わらなく

とも、環境が好転すれば再生が可能という他力本願の期待である。もう一方の極端は改革を自己目的化してしまう考え方である。他力本願は根本的解決に成り得ないが、改革それ自体が目的ではなく、日本を取り巻く環境変化に対応した社会・経済システムを造り上げていく事が究極の目的である点が忘れられてはならない。

例えば、不良債権の処理促進も、これ自体が目的ではなく、金融セクターに対する信頼を回復し、必要なところに適切な資金供給を行う為に必要なのである。

一昨年のノーベル経済学賞受賞者であるスティグリツ教授の近著「世界を不幸にしたグローバリズムの正体」は、改革に関する好著である。教授は、グローバリゼーションや改革を成功裏に進める為の重要な視点を明らかにしている。第一に、改革を自己目的化してはならない。第二に、改革を進める為の戦略性と受け皿が重要である。第三に、社会の絆を断ち切つてはならない。ここで、日本への具体的適用例を論ずるスペースはないが、政府が改革を進めるうえ



で重要な視点である事は異論がないであろう。

年末に教授の本を読んで上述のような事を考えていた時に、最近病氣のためにご子息を亡くされた、現在七八歳の高校時代の恩師を訪ねた。

お寺の住職でもある先生は、一旦亡くなつた息子さんに譲つていた地域での日曜学校を継続しようとするが、地元の人達は、受験の足しになるわけでもない学校を実は止めたがっていたと知り愕然とする。地域の絆が失われ「日本人の帰るべきところが崩壊しつつある」と感じたからである。先生の言葉でもう一つ印象に残つたのは、「息子を失つて初めて、人に尽くせるという事が如何に有り難いかを悟つた。失つた悲しみは大きいが、全てが無に帰したのではなく、失う事により新たな目が開けた」というものである。

もとより、「日曜学校」のような具体的問題についての評価は様々であり、個人の感慨は人それぞれである。しかし、社会の絆をどう維持していくのか、また、現在の困難を単に「失われた十年」とするのではなく、日本の未来にどう繋げていくのか、これを問いかける事は私達一人一人に課せられた課題である。こういった問題を地域の皆様と共に考えて行きたいと思う。

ブルースな日々 ああガス欠!

作／演出●是枝正彦

ONGAKU-GEKI

新しいスタイルの音楽劇『ブルースな日々 ああガス欠!』が神戸でも公演される。稽古の合間をぬって、主演の前田吟さん、平田広明さん、吉岡毅志さんにお話をうかがった。

笑撃的なテイクハートコメディ

前田 この芝居は舞台上には、コーラスメンバーのための小さなステージがあるだけで、大道具、小道具はなく、コーラスがお芝居のストーリーをブルースで紹介して進行していくというスタイルです。それにのつとて我々が芝居をするという爆笑コメディ。コーラスにはミュージカルでは有名な田中利花さんや、クラシックの高橋桂さんが出演しています。話は、とある劇団が地方の劇場で千秋楽を迎える芝居が終わり幕が下りてくるというところから舞台が始まります。慢性的な金欠病の貧乏劇団ですから、くぎ1本、ガムテープ、食費も削り「ともかく節約しろ」という座長が私の役どころで、東京へ帰るまでの間にガス欠になつたり、火事があつたりといろんな事件が起ります。その劇団員9人の話です。

平田 実際の若手の役者はみんな貧乏ですよ。いろんなアルバイトをしてますからね。劇団の若手を集めたら、ビルが建てられるくらいみんな手に職持つ

前田 てますよ（笑）。

平田 舞台は生ものだから、自分のテンションと相手役のテンションとお客様のテンションの三つ巴です。何べんもやっているステージでも、突然新しい発見があつて背筋がぞくぞくとする時がありますね。でも次の日からそれができるかというとそんなわけにもいかない。やっぱり生ものは怖いですね（笑）。

吉岡 まだ舞台はちょこつとなんですが、ヒーロー出身で作っているユニット、「ヒーロー1730」では舞台でムーブメントを起こそうとがんばっています。今回のようなお芝居は初めてですが、舞台は見る人によっていろいろな見方ができるというのがおもしろいですね。ぼくはデビューが映画で、その後ウルトラマンガイアのテレビの仕事が中心でしたが、



舞台への意気込みは相当なもの

舞台はやはりライブの楽しさがあり大好きです。

前田 出演者も畠違いの人が集まっていますから、それもおもしろいと思いますよ。

平田 毎日6時間くらい稽古をしてますが、今はみんなでひとつものを創造して合わせていくという段階かな。それとこのストーリーは演出家の是枝さんが、実体験をもとに本を書いているから、真面目にやっているんだけど、演じながらおかしくなつちやうところがあつて、二・三箇所あぶないところがありますよ(笑)。

神戸での公演が楽しみ

前田 ぼくは神戸の食べ歩きのリポーターをしたから、誰も知らないようなお鮨屋さんも知っていますよ。

吉岡 それは絶対連れて行つてもらわないと(笑)。

平田 神戸で公演がある時は、オフの時間はボートタワーの辺りを散策したりしますよ。

吉岡 ラジオの仕事で神戸に行つたのですが、夜景

がとつてもきれいだったのが印象に残っています。

前田 食事も若い人むけのお店が多く、お料理もダメイナミックですよね。食べ物がおいしいといいうイメージがあるので、年に一度くらいは行きたいです。

吉岡 さつきから、食べ物の話ばかりですね。公演の時はぜひグルメツアをお願いします(笑)。
前田 神戸はパワーのある街だから、我々もお客様を圧倒するようなパワーで舞台を作りたいね。肩の凝らない理屈抜きに楽しいお芝居を、リズムにのつて観てもらいたいです。

——お話を聞いていただいた前田吟さんは、「男はつらいよ」のひろしそのままの気さくで優しい方。若手の吉岡毅志さんはさすがにアクションヒーロー、笑顔がすてきな好青年。アニメ「ワンピース」のサンジ役でも人気の高い平田広明さんはエー声でした。ブルースで緩る、可笑しくて哀しい新しいスタイルの音楽劇、みなさまぜひ劇場へお越しください。



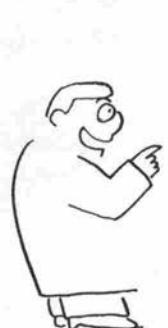
通し稽古にも熱がはいる



どうしました?



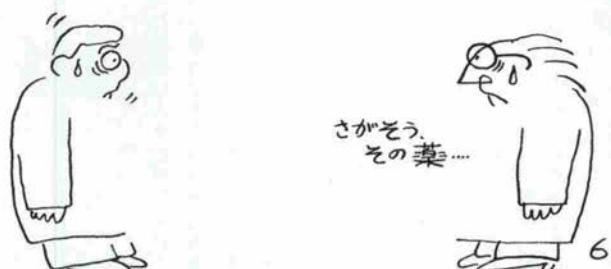
今 何のために
ここにきたのか
あそいだせん……



ほら、あの。
すべての記憶が
よみがえるという薬を
のめばいいじゃ
ありませんか



そんな薬があるのか?



震災復興のアーバンデザイン・その5
「ガレキに花を咲かせましょう」

震災復興のアーバンデザイン・その5



小林郁雄
コー・プラン代表



希望の花・開花



灘区・ガレキ種まき隊



長田区・ガレキのヒマワリ

阪神大震災4カ月後の1995年5月末、ガレキを耕して花の種をまいた。暑い夏を耐え秋に咲いた。灰燼に帰した長田区ではヒマワリを倒壊した家々が続く灘区・芦屋ではコスモスを13ヵ所約5000平方メートルであった。左上写真はその最初に開花したコスモス、希望の花であった。

その地に住み、親をなくし家を失った地域の人々に呼びかけて、娘を下敷きにした家の跡を掘り起こし、瓦の破片を取り除き、涙のしみこんだ固い土を耕し、花の種をまいた。そして、たくさんの人たちが自分たちの家族と旧居をしおび、街の跡をたずね、水をやり、花を見にきていた。

死に絶えたような土地でも、種をまけば花が咲き、再び息を吹き返す。それを自分たちの手で行う。そのためのコミュニティサポートこそが、市民まちづくり支援のもつとも基本的な活動である。

後に、被災地での様々な緑花活動を開催する阪神グリーンネット（正式にはランドスケープ復興支援会議）が生まれる基となつた。

●女流建築家シリーズ

地域の拠点・福厳寺



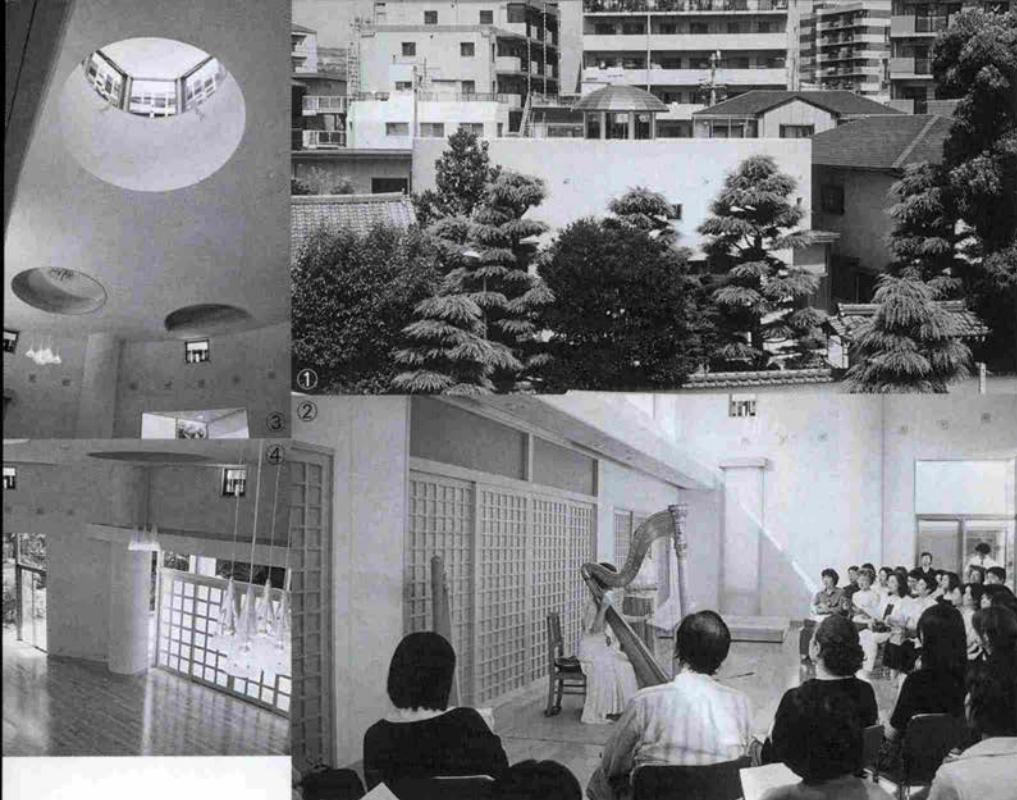
中川健子
株式会社アルプラン
代表取締役

阪神大震災で全壊した神戸市兵庫区の福厳寺。「震災で、お寺は地域の拠点だということを痛感した」という住職の思いから、全面フローリングで多目的ホールとしても使える地域コミュニティの核となるお寺として設計した。

鉄筋コンクリート造平家建約七十平方メートル。耐震性に優れていることと、人が集う温かみのある建物であること。マッシュユルームのように見えるステンドグラス付のトップライト。日中は青く、柔らかい光が差し込む。夜は内側からライトで照らし出され、光のドームをつくる。

正座しにくい高齢者のために、法要などをいすで行うこととした。住職が座るたまは可動式で、たまを動かすと、たちまちホールとなる。半円形で天井に変化があるので音響効果が良い。

二年前から六月と十二月に音楽会を開いている。この六月にも「コンサート・フランメンコギターの調べ」が開催される予定。私も企画メンバーとしてボランティアとして参加している。設計した建物に多くの人が喜んで参加している様子を見るのは、貴重な経験。できる限り続けていきたいと思っている。



①地域コミュニティの核となるお寺・福厳寺 ②音響効果の良いホール
③柔らかい光が差し込む ④全面フローリングの多目的ホール

JCの役割は いい男を育てること

阿部 泰久

(第36代神戸青年会議所理事長・兵庫ヤクルト販売株式会社代表取締役)

キラン・S・セティ

(2003年度社団法人神戸青年会議所理事長)



阿部 泰久
1956年生まれ。1978年甲南大学経営学部卒。兵庫ヤクルト販売株式会社代表取締役社長。神戸商工会議所小売部会議員。

青年会議所の存在意義は、地域への奉仕活動を通じて個人の能力の向上を目指すところにある。「人のお役に立たなければ、企業も団体も継続しない」と話す阿部泰久氏に、魅力のある人づくり街づくりについてお伺いした。

JCの役割は 街のお世話役を

阿部 45周年式典は、多くの先輩

周年に向けてのステップとして、現役と先輩が集まって話す場は、大変意味があったと思います。私自身、JCを卒業してから、いろいろな団体に在席をしていますが、

どこの会に出席してもJCのOBがお世話役をしている事が多いです。各地域、各団体にいるOBとのネットワークを密にして、全体をつなぎ面にすることはできれば、神戸はもっと活気づくのだと思います。

キラン 45周年ということで、神戸JCの歴史を振り返ったり色々な方のお話しをお聞きしますと、神戸JCが、どれだけ街に貢献してきたかを再確認することができます。私も自身、節目の年に選ばれた責任の重さを改めて実感しました。45周年は、神戸JCのこれから可能性を考え、50年、100年の大計に向かうためのボイントだと思います。これからも大きな視野で物事を見ていかなければならぬでしょう。

阿部 人のお役に立たなければ企業も団体も継きません。これはどの組織でも同じです。人のお役に立っているからこそ、引き続き発展していくのです。そういう意味でJCはここまで、原点の精神を受け継いで発展して来られたと思います。私は青年会議所の役割とは、いい男を育てることだと思っています。いろいろな分野の人と出逢い、刺激を受けることで人間的に大きくなれるのです。今の神戸は全体で物事に取り組まなければなりません。しかしこんな状況

でも、神戸はまとまりがとれていないよう思えます。ネットワークが必要なのですが、そのネットワークをつくるのが難しいのですよ。

キラン 国際関係の団体は特にネットワークを強めていく事が必要だと感じますね。

みなそれでは頑張っているのですが、やはり限界があります。全体のビジョンがないのです。神戸のビジョンを市民が共有していく事によってこれから街づくりが活性化するのですから、10年後・20年後・・・50年後どうなっていたいのかということを皆で考えなければいけない。

阿部 株式会社神戸と呼ばれていた10～15年ほど前、我々は行政がやらない隙間を探していました。いまはみなとまつりをJ.C.に託すなど、市民主体の流れに変わって

きています。市民が動く時代に変わったのです。各地域ごとの意志が重要です。地域は高齢化、ノウハウの無さなど多くの問題を抱えています。それを支えるのも、神戸J.C.の役割の一つではないでしょうか。

キラン イベントは若者が集まらなければ活気づきません。まつりそのものの魅力がなければ企業の参画は望めませんし、効果がなければ継続する事もできません。どこの企業でも、効果があるからこそ協力してくれるのです。そして成功するためには、産・官・学はもちろんメディアとのつながりが重要です。みなとまつりも今年は誰を巻き込むかがポイントです。そして来年は誰が運営していくかです。J.C.の役割はクリエイトとコーディネートなのです。

阿部 1994年に開催されたJ.C.の世界会議の参加者は公称15000人でした。個人にとっても神戸J.C.にとどまらず、これまでにない大きな目標でした。だからこそ自分の能力を超えた力を出せたのです。今までにない大事業を成すことで、個人も組織も能力以上の力を發揮するのです。残念ながらそのあと震災があり、あの盛り上がりを次につなげることはできませんでした。神戸規模のまちはコンベンションを受け入れやすいのだと思います。このサイズのまちだからこそ、温かく迎え入れることができます。神戸が活気を取り戻すには、コンベンションや観光などで、外から神戸に来てもらわなければならぬのですよ。

キラン 神戸の良さは、昔から親しみやすくお洒落な雰囲気があることです。しかしせっかくそういう雰囲気があるにも関わらず、どこか構えてしまうところもあります。かつてニューヨークのウォール街に行くはずだった私は、急速に帰つてこいと父に言われ思ひ出しました。父には本当に感謝していますよ。いまアメリカに住んでいる兄や友人は、神戸に帰

個人の国際交流
真の国際交流



キラン・S・セティ
ピッツバーグ大学経営学修士修得。㈱ジュビターライン
ターナショナルコーポレーション取締役専務。2003年
度、(社)神戸青年会議所第45代理事長。



りたいと言っています。心のゆとりを持つていてる人間ほど、神戸に帰りたがっていますね。

阿部 神戸に住む外国人の意見を、もっと前向きに受け容れるべきです。いまはそれが少なくなっていますね。神戸は外国人から見て何も特別ではないのです。外国人を観光に連れていく場所はほとんどありません。神戸は国内から見るに国際的ですが、海外から見ると違和感のない「居心地のいい場所」なのですよ。神戸は昔からどこか官僚的で、受け入れはするが、まとまるのは難しいと言われます。

しかし、世界会議を開催して感じたことは、海外の人は神戸のまちをとても気に入っていました。言葉、宗教、価値観が違っても、最後には個人レベルの交流がもっと大切なのだと思いましたね。あのときは神戸JCだけではなく、周辺JCにも協力いただいて、ホームビギットをやったのです。海外のお客さんに、メンバーや自宅で食事のおもてなしをしていただきました。あれは良かったですね。市民も巻き込んだ事業だったのです。

期限付きの目標が

阿部 JCマンである前に、地域に貢献できる経済人でなければいけません。地域で生かされる者と

して、お世話をできる経済人でなければならぬのです。そして様々な経験を通して、自己発見できる場がJCなのです。そしてそれがいい男になる仕掛けです。いい男とは魅力のある男です。JCでは自分の企業ではできないこと、やらないことをしなければなりません。それを単年制度でこなすのです。人は普通、自分がやってきたことを続けたくなるのですが、JCでは知らないことを与えられます。まったく新しい分野の仕事を、人から与えられることで勉強するのです。期限付きの仕事を与えられると、何とかしようと必死で頑張ります。

キラン 逆に言えば、神戸JCは失敗できる場でもありますよね。

阿部 誰が、いつまでに、何をといった期限付きの仕事をしなければ、夢はただの夢で終わってしまいます。まちづくりも企業も同じです。提言のほとんどは、期限をはっきり決めていないような気がいたします。

キラン 大きなゴールを掲げ、そこに至るまでの多くの期限が必要ですね。戦後の日本にはそれがあつたのです。

たのです。ところがいざ追いついてしまうと何もやることがなくなってしまうのです。企業の発展は、徹底してマーケットに応えること

にあります。では神戸JCは何に応えるべきかとなると、地域がお客様なんのです。

阿部 神戸JCにも、50周年までにという期限付きのものがひとつありますね。神戸がこれだけ厳しい状況で、神戸JCに何ができるかを考えるのです。お金で済むものではありません。我々には汗をかき、知恵とパワーを出すことができます。これを最大限に發揮することが大切なのです。神戸はネットワークを線にし、面にしていくのが難しいまちです。そのため汗をかくのは、かき甲斐があるのではないかとバワーを出すことがあります。先輩とは「先」に物事をした人です。経験者から教わることは何よりも尊い価値があると思いまますし重要な事です。後でやる者ほど、失敗は減らせますから。大勢のご来賓や神戸JC先輩諸兄にご参画いただいた今回の神戸JC創立45周年記念式典は、そういう意味で本当に価値があったと感じますし、将来に向け頑張るために地固めと思っています。50年・100年先の街の将来を考え、私たち神戸JCは新たに歩み出します。

「神戸悠久の友へ」が
心の扉を開く

神戸を中心に活動を続けている歌手の摩耶はるこさん。CD「神戸 悠久の友」を作詞・作曲され、CDの収益は、NPO法人・「しみん基金こうべ」に寄付されている。CDを出すきっかけやその思いについてお話を伺いました。

摩耶はるこさんには聞く
歌手の摩耶はるこさん。CD「神戸 悠久の友
無は、NPO法人・「しみん基金こうべ」に寄付
ヤその思いについてお話を伺いました。

に参加できるのは、身震いするほど嬉しかったのですね。

——「神戸 悠久の友へ」は、どの
ような思ひを込めておられますか。

うなところにあつたのでしょうか。

摩耶 震災後、仮設住宅などをまわって歌をうたつていましたが、何の役にもたたない自分に無力さというか、あせりのような思いを募らせたまま今日に至つております。そんな時、「しみん基金」うべの方とお話をしていた時に、財源不足を解消するための方法を考えておられたのです。そこで、

私の楽曲がお役にたてることがあ
ればと申し出たら、大変喜んでく

——一言でいうと神戸市民を励ますエールという事なのでしょうか。

れる方がいて、その売上が団体などの活動資金になる、というのはとても理想的なことであり、それ



作詞・作曲・歌／摩耶はるこ
発売日／4月11日
発売元／しみん基金こうべ
シングル版CD(マキシ盤)
発売価格／¥1,000(税込)
(問い合わせ)アート・サポート・センター神戸
神戸市中央区山本通2-4-2
☎078-262-8058

——今後の音楽活動についてお聞かせください。

摩耶 今の歩みをひたすら続けて行きたいと思っています。これまでは普遍的なものを具体的に歌つてきたつもりですが、これからは皆さん的心に夢を届けられるように歌つて行きたいと思います。神戸市民の皆さん、特に痛みを知つておられる方、歩みたいくけど足踏みされている方、そういった方々に、このCDを一人でも多くの人に是非聞いていただきたいと思います。皆さんを持つてある神様の扉をあけてもらうきっかけになれぱと願っています。

所でもあります。この曲を聴いていただいて、皆さん持っている心の扉、その扉をそつと開けていただけの機会にしていただけたら。悠久とは絶対的なもので、良いも悪い時でもずっとここにいるぞと絶対的な想い、そういった想いでよね。一言でいうと愛してるぞ。



次代を創る⑧ 須浪道広

明石海峡大橋
開発株式会社
代表取締役

すなみみちひろ 1962年神戸
生まれ。大阪工業大学卒業。
87年スナミマリン(株)入社。
01年スナミマリン(株)代表
取締役就任。02年明石海峡大
橋開発(株)代表取締役就任。

時間と空間の融合をめざして 眠っていた資源を再生させる

ビリヤード場、そして和食店「くら藏」など幅広いジャンルの事業をおこなっている明石海峡大橋開発株式会社。古い倉庫を活用して店舗を作るなど、独自の事業展開を手掛ける須浪道広社長にお話を伺いました。

若気の至りからオーブンしたビリヤード場

— もともと船舶関係の事業はどのようなのですか。

須浪 家系として四国で造船関係

の会社をしておりましたが、祖父の代になり昭和初期、神戸に出てきて船具などを取扱うようになりました。それが、(株)スナミの前身となります。主に帆布、ワイヤーロープ等の船用品を加工販売しておりました。しかし、オイルショック以後、徐々に陸上の運送、建設の資材などの加工品が多くなり10年程前からは、ロープを用いたジャングルジムなどの製造も行っています。また、昭和40年代から海外向けに船舶部品を輸出して

おります。

— ビリヤードのお店を出されたきっかけは。

須浪 大学卒業後、スナミマリン(株)に入社しました。世界には日本で造られた船が数多くあり、日本の計器や部品が使われています。しかし、入社もなく急激な円高になり、日本製品の国際競争力が低下し、海外顧客の発注先が欧米へシフトされ輸出が減りました。そこで逆に輸入できるものはないかと考えてみたわけです。そこで思いついたのがビリヤードです。大学時代によく友人とビリヤードをしていたのですが、卒業後にビリヤード場に行つてみたら以前より流行つっていました、台の生産も追いついてないという話を聞きました。そこで海外にある代理店で各国の生産事情を調査し、いろんな種類の台を輸入してきて展示もかねたアンテナショップを作ることになりました。日本は精度が重要なのでビリヤード台の詳部の改造を重ねていきました。ショップそのものも話題づくりとして、木造の倉庫を改装しました。店舗開店後に映画のハスラーがヒットしたこともあり、追い風となつておかげさまで受注も結構いただきました。今思えば若かったからできたと思いますよ(笑)。



①神戸ウイングスタジアムにオープンしたレストラン「ウルティモ」。ピッチレベルで試合を観戦することができる

②醤油蔵を改装した「くら蔵」明石朝霧店

③仲買人の資格をもったスタッフが毎朝市場までセリに出かけ仕入れてくる新鮮な魚

「くら蔵」オープンの初日 1日の売上は、6800円。

倉庫を改装した和食のレストランの出店を思いついたのは。

須浪 ビリヤードは一過性だらうという思いもありましたので、次は和食というものに注目してみたのです。

醤油蔵を改装して「くら蔵」というレストランをオープンさせました。当時は倉庫の中で和食を食べるイメージがなかったですね。

当初の売上は思うようにいきませんでしたね。今でもはっきり覚えていますが、初日の売上が6800円でした(笑)。今はおかげさまで、ハーバーランドにもお店を出店させていただきました。

レンガ倉庫と和食とはどう考えても結びつきませんが、古いものをいかに活用させるかということで和食を結びつけてみました。近年は、神戸市漁協の買付人登録(セリの権利)も取得し、毎日スタッフが各地漁港でセリ落とした新鮮な天然魚介類をその日のうちに、各店舗で提供させていただいている。明石海峡の美味しい魚を地域の人々に、地物、天然の魚の味を一人でも多くの方々に味わってもらいたいと思っています。

人生の大きなシーンを演出したい

先日グランドオープンした神

戸ウイングスタジアムにレストランを出店されたということですが。

須浪 神戸ウイングスタジアムは主な施設整備を神戸市が行い、運営管理を民間会社が行う公設民活

方式です。今までのような付属としての設備ではなく、ここにレストランがあるからスタジアムに人が来るというような発想でレストランのソフト構築をしたつもりです。

そして他に真似できないようなレストランとしてスタジアムウェディングなども行います。他では決して体験することができない思い出深い日が演出できると思います。ウルティモという名前はイタリア語で永遠という意味です。ウェディングや語らいの場、スポーツ観戦の場など、一つ一つのシーンに歓喜できるようなレストラン、人生の大きなシーンを想像する事業であります。

今後の展開についてお話をください。

須浪 醤油蔵やレンガ倉庫を改装した「くら蔵」のように、古いもの、眠っていた資源を再生させて活力ある空間にえていきたいですね。時間と空間の融合といいますか、友達同士の語らいや家族でのコミュニケーションなど、印象に残る一頁、味わったひとつずのシーンが忘れることなく永遠に続くような、そんな場所を作りたいと思

暮らしの中に木材を

「ひょうごの木造・木質化作戦」について



お話を伺つた方 兵庫県農林水産部農林水産局 林務課長

島津哲治さん

県産木材の利用を進める取り組みについて、林務課長の島津哲治さんにお話を伺いました。

木材を生活に取り入れることには、どんなメリットがあるのでしょうか。

木材を建築材料に使つた学校での調査によると、コンクリート床での校舎に比べて木材の床は子供の集中力が高まる、ストレスや不安を解消する、暖房器具を使うと部屋全体が均一に温まるなどの効果があるといふ結果が出ています。木材を住宅に利用すると、自然に快適な湿度が保たれる、ダニを寄せつけない、転んだときの衝撃を和らげるなどのさまざまな効果があります。また、森林は成長する際に二酸化炭素を吸収しますが、伐採して木材となつてもそのまま二酸化炭素を蓄えているため、地球温暖化防止にも役立つのです。

県では、県内で産出される木材の利用を推進しています。これは、県産木材をたくさん利用することで、県内の林業の発展・農山村の活性化につながるだけでなく、手入れすることによって森林が健全に保たれ、森林の多様な機能がよく働くようになります。そのことが、ひいては県民の暮らしを守ることにもつながるからです。

「ひょうごの木造・木質化作戦」についてお話し下さい。

今年度から、県が率先して県産木材の利用を進める「ひょうごの木造・木質化作戦」を展開しています。作戦には三つの柱を立て、一つ目は「県立施設木造・木質化20%作戦」です。これは、今年度以降に建設・改修する県立施設について、特に防火上の問題など建築基準法の規制がない場合は原則木造とし、木造化できない施設は、床や壁など内装に木を使ってその木質化率を床面積の20%以上に相当する面積とするもの。

二つ目は、民間の住宅にも県産木材を取り入れるための「県産木造住宅10倍増作戦」。平成二十二年をめど

に、県産木材を使った住宅を今の十倍の千五百戸にしようというものです。そのため、県産木材を使つた住宅への融資制度について、二・〇%の低利率を二十五年間固定するなどの充実を図っています（文末の表参照）。また、産地や品質、性能が明確な県産木材を利活用し、価格や施工状況などの情報のすべてに透明性をもつた「ひょうご木の家」のモデル住宅を設置、普及啓発に努めます。現在、南芦屋浜と姫路市に設置を予定しています。これは、ITを活用して材木店、工務店、建築士などが情報を共有し、供給が円滑に進むようになる「ひょうごウッドエイビジネスパーク構想」などの施策の一環として進めています。

三つ目は、住宅の内装や木製学習机など暮らしの中で多様な木材利用方法を提案する「暮らしの中に木材を取り入れる運動」です。県の取り組みをPRするフェアや展示を県内各地で行うほか、県産木材の利用方法を助言するアドバイザーの設置、県産木材を使った学習机、イスを小・中学校へ導入するなど、皆さんのがんばりで、最近実施されたアンケートでは、八八%以上の人気が木造住宅に住みたいと答えていますが、木造住宅は割高だというイメージがあつたり、木材の確保が難しいと思われがちです。ところが木造住宅は他の材料を使用するよりも低コストで済むのです。県産木材がより身近なものとなるよう、価格を抑え、供給を安定させなどの取り組みをこれからも行なっていきます。

●対象：県産木材を50%以上使用し、そのうち十四品目が「ひょうご県産認証木材製品」である木造住宅の建築
●融資限度額：二千五百万円
●利率：2.0%固定
●返済期間：二十五年以内

問い合わせ：県林務課☎ 078 (362) 3467



島津哲治さん

暮らしの中に木材を ひょうごの木造・木質化作戦

みんなが県産木材を
木を切った後に若い木
植えられるから
木が元気にあるよ

若いぼく
たくさんさん
あるんだ

木材として
長く使えば
CO₂を由じ込め
ままなんだよ

ひょう(ひ)木の家は
兵庫県で育った
スギ・ヒノキ等を
使って建てられた

木の部分だけ
変えて
リサインでできるも

木の校舎は
集中力が高まり
疲れが少ないんだ

気持ちが良い

高
り
ん
だ
抗
菌
作
用
加
温
保
温
断
熱
・
遮
光

暮らしに
役立つんだわ

県産木材を
使って
住宅を建てねば
低利融資を
受けられるよ

イラスト
佐藤晴美